地域に活きづく国有地（８）東北沢ききょう保育園

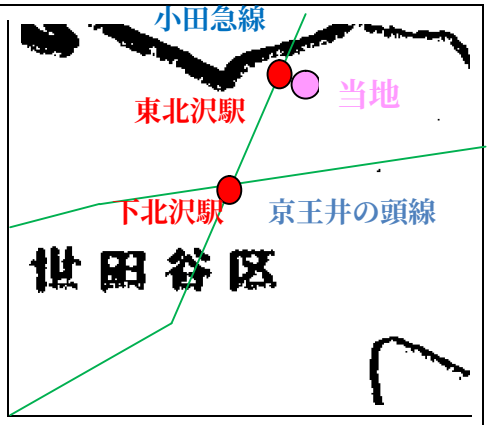
（国有地は、国の庁舎等から地域に役立つ施設等に姿を変えて、地域貢献しています。）

東北沢ききょう保育園

【東京都世田谷区北沢 1-472-21　1,322.18 ㎡】

広い園庭

フローリングの保育室



《財産の沿革》

この地は、もと最高裁判所東北沢宿舎でしたが、宿舎の廃止に伴い、財務局が跡地の利活用を検討する中、世田谷区より利用要望があり、保育園敷地として利用（定期借地制度による区への貸付後、社会福祉法人が整備・運営）いただくべく諸手続きを経て、平成 23 年 7 月 12 日付で契約したものです。

《施設の概要》

・平成 24 年 4 月 1 日開園、整備費約 2 億 5,000 万円
・園児数、職員数・・・園児 121 名（定員）、職員 34 名
・運 営 主 体・・・社会福祉法人　桔梗
・コンセプト・・・保育園は子どもが生き生きと育つ場所であり「家庭の延長線上にある昼間のお家」と考えています。子どもが自由で自発的に育つように、一人ひとりをしっかり受け止めて、育ちにふさわしい環境整備を目指しています。

《地域への貢献・効果（担当の方への取材より）》

（区の担当者）

・国有地を活用させていただき、駅近くの利便性の高い場所に１００名規模の大きな保育園を整備することにより、待機児減少につなげることができました。
・新設保育園では、４歳・５歳児の受入れ状況に空きが生じる傾向があることから、当園では施設の使い方などを工夫することで、認可定員外で児童を受入れる定期利用保育（年度末までの期間限定)を実施し、待機児の多い１歳児を受入れていただきました。

（保育園の園長先生）

・開園から１年近く経ったことで、当園の保育の考え方が保護者の多くの皆様にもご理解頂けるようになり、駅から徒歩２分という便利さからも入園を希望される方が多数いらっしゃいます。
・開園にあたり地元の商店に挨拶に伺ったご縁で、これまで配達はしていなかったお店から保育園で使う食材を配達してもらうようになりました。また、地域の老人会と食事会を開催しており、近所の子どもが当園に通っていることがわかると楽しそうにお話をしていました。

当時（平成 16 年頃）

現　在